

科目名		単位数		対象年次	履修	開講回数	必要 面接時数	添削 指導回数
音楽Ⅰ		前期	1	1年次	必履修	12	5	3
		後期	1			12	5	3
使用教科書		教育出版社 701 音楽Ⅰ Tutti+						
科目の概要		基礎的な「音楽のしくみ」を理解し、世界中の様々な音楽に触れたり、表現したりします。						
年間 学習 計画	学習内容		主な学習のポイント			面接指導	添削課題	
	・音楽入門（楽典）① ・暮らしの中にある音や音楽 ・日本のポップスを歌う (P17/143/146)		■ト音記号とヘ音記号 ■音名～日本語とドイツ語と英語とイタリア語 ■音とピアノの鍵盤との一致 ■クラシックとポピュラーとジャズ・自分の好きなジャンルについて ■メロディとリズムとハーモニーの3要素 ■メディア音楽について・音楽の著作権 ■井上陽水について ■歌詞を読む・歌詞から何を感じるか ■聴いて、歌う			前期 1～4	No.1	
	・音楽入門（楽典）② ・ピアノの歩みとその音楽 (P21/118/119/ 146/147)		■音名、音符と休符、鍵盤との一致、拍子 ■「メリーさんのひつじ」をピアノで弾いてみる ■クリストフォリのピアノについて ■ピアノの誕生 ■ウィーン古典派と産業革命 ■モダンピアノとヴィルトゥオーソ ■近現代のピアノ作品 ■ピアノを弾いてみよう			前期 5～8	No.2	
	・音楽入門（楽典）③ ・楽譜の始まり ・教会音楽と宮廷音楽 ・西洋音楽史① ・カノンに挑戦しよう		#と♭を知ろう！（12平均律について） ■音楽史の時代区分 ■小フーガ短調（教会音楽） ■ブランデンブルグ協奏曲（宮廷音楽）西洋音楽史～教会音楽の発展 ■古代 ■中世 ■ルネサンス 楽器を使って、教会音楽のスタイルに挑戦しよう！ ■カノンって何？ ■かえるのうたを歌う／弾く（P108/109/146）			前期 9～12	No.3	
	・日本のうたを歌う (P20/146/147/149)		■作曲者を知る ■拍子と調性を知る ■上声部のメロディのみ、音とリズムを理解する ■1番のみピアノ（か楽器）で弾く ■全ての楽語、音楽記号を ■1番から3番までの楽譜を追えるようにする ■ふるさとをピアノで弾く ■理解できない言葉を探し、意味を調べる ■歌詞を現代語で訳す ■情景を理解する ■ふるさとを歌う			後期 1～4	No.4	
	・西洋音楽史② バロック 古典派 (P24/25/110/111/ 146/149)		■バロック①・オペラの始まり・Caro mio ben鑑賞 ■バロック②・器楽の確立・ヴィヴァルディ「春～1楽章」鑑賞・バッハの功績■古典派・前古典派の時代・ソナタ形式とさまざまな器楽・オペラ改革■モーツァルトの「アイネクライネナハトムジーク」鑑賞■モーツァルトの交響曲第40番鑑賞			後期 5～8	No.5	
	・オーケストラの楽器 ・オーケストラの魅力を 探ろう (P122/123/146/151)		■オーケストラの定義 ■弦楽器 ■管楽器 ■打楽器 ■作曲家ラヴェルについて ■ボレロについて ■ボレロのリズムと2つのメロディ ■楽器を確認しながら鑑賞			後期 9～12	No.6	
評価 方法	・面接指導（スクーリング）への取り組み(意欲、興味、関心、理解度など) ・添削課題（レポート） ・試験（テスト）							
単位 修得	・面接指導（スクーリング）は、前期・後期各5時間以上出席してください。 ・添削課題（レポート）を前期・後期各3回提出してください。 ・1年次で2単位修得します。							